

SYNAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No.50 2020. 6

今月のテーマ：平和と沖縄

恩納村万座毛



辺野古



ひめゆり平和記念資料館



糸満市荒崎海岸



基地の無い・観光リゾート沖縄へ

500 年続いた琉球王国を明治政府により断ち切られ、壮絶な沖縄戦で辛酸を舐め、大戦後も基地問題に苦しんだ沖縄。

1972 年 5 月、基地撤退を夢見て、本土復帰だったけれど……。

移設の思いは、昨年の県民投票ではっきりしています。

基地を沖縄に追いやり見えなくする事で、「日米同盟」を容認している私たち。

隣国の脅威に備えると言うなら、本土で体制を整えたらどうでしょう。

植民地化の解決、米軍基地駐留の是非はその上で議論すればいい。

梶原隆憲

カトリック大阪大司教区 社会活動センター

シナピス

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。

イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

TEL 06-6942-1784

FAX 06-6920-2203

E-mail sinapis@osaka.catholic.jp

沖縄「慰霊の日」を迎えるにあたって

シナピス副センター長 松浦 謙

沖縄の抜けるような空と真っ青な海。そして緑の大地、その自然は限りなく美しいものです。ですがその地の激戦で多くの人の血が流され、約20万人以上の尊い命が奪われました。

沖縄の与那原教会所属の具志堅貞子さんはその過酷な戦争体験をされた方です。貞子さんは与那原に3人家族で住んでおられましたが、1945年3月の空襲で爆撃を受けて、自宅は全焼。3つ年下の妹と母3人で着のみ着のままで逃げました。妹ははぐれてしまい、母は艦砲射撃で亡くなりました。一緒に逃げていた軍人さんといっしょに母の遺体を畑に埋めたのです。呆然自失の状態だったそうです。その日本兵も、防空壕で火炎放射器で焼かれて亡くなりました。生き延びて米軍にとらえられた貞子さんは捕虜収容所に入れられました。終戦後、解放され、その後、結婚し6人のこどもを産み育てたが、心の傷は今も痛むといえます。今も敵に追われる夢をみてうなされるそうです。

那覇教区のウェイン・バーント司教様は自らの紋章に沖縄語の「ちむがなさ」という言葉を入れておられます。「ちむ」は肝と書き「はらわた」のことです。「がなさ」とは悲しい、愛おしい、という意味です。相手を思うあまり、自分自身のはらわたが痛み、かきむしられるほどになるということをさします。「ちむがなさ」はこの神様の悲哀の心を表します。神様は苦しみ悲しむわたしたち人間を、見て見ぬふりは決してできませんでした。神の独り子イエスは十字架にかかって自ら苦しみを身に受けられました。それはわたしたち人間とどこまでも共に生き、あらゆる罪と悪の力からわたしたちを解放するためでした。

6月23日は沖縄「慰霊の日」です。わたしたちは沖縄戦で犠牲になられた方々に思いを馳せ、永遠の安息を祈ります。2度と戦争を起こすことのないように、地上に神の愛に満ちた平和な世界が実現するように祈り、そのための必要な力と恵みを願いたいと思います。



今月のページ

■ ニュースレター 目次 ■

- 1 巻頭言
- 2 大阪にある「沖縄タウン」学習会
- 3 時報6月号より
- 5 子どもたちに伝えたい平和
- 6 教えてください～！！第三弾！
- 8 みんなのけいじばん
- 9 沖縄とわたしたち
- 10 憲法がかわったらどうなるの？
- 11 あとがき

■ チラシ・ご案内 ■

- ・6月の祈り
- ・忘れないあきらめないカレンダー
- ・日本カトリック正義と平和協議会より
検察官人事に関する抗議声明

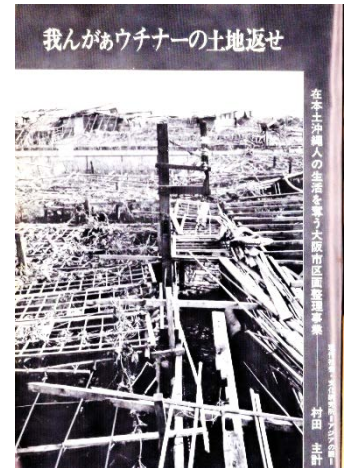


大阪にある「沖縄タウン」学習会



遠い沖縄まで行かなくても「沖縄に大阪市内で出会える」という企画をしています。
大阪の「信徒の会」（正しく言うとカトリック大阪教区・部落差別と人権を考える「信徒の会」）と京都に事務所のある大阪センター（正しく言うとカトリック大阪教会管区部落差別人権活動センター）の共同・学習会です。

大阪の大正区に、沖縄の人達が、伝手を求めて働きに来たクブンガー（窪地の意味）という場所があります。本土の他の場所よりは、住みやすかったのですが「琉球人と朝鮮人はお断り」という張り紙があり、名前を日本式に変えないと仕事にもつけない、アパートも入れてもらえない現実は厳しいものでした。大正区は木津川・尻無川に囲まれて「島」のようになっているところで、隣の西成区や港区に行くには渡し船で渡ります。（学習会ではこの渡し船に実際に乗ってみます。ご期待ください。）二つの河を大きい船が材木をつんで全国から来ていましたが、特に和歌山の新宮からは材木商人も来ていて、この人たちは熊野人と呼ばれていました。大阪人いわく「琉球人と朝鮮人と熊野人との言葉は一寸わてらには聞き取り難いところがあるがそれでも三者の中では熊野人が一番日本語が上手だな」と感心していた、と1953年6月16日の熊野商工新聞にある。



環境改善前のクブンガーの写真
「差別と闘う文化」3号のグラフィックから



現在のクブンガー 2020.3月撮影

【学習会資料：水内俊雄「大阪市大正区における沖縄出身者集住地区のスラム・クリアランス」P. 48より引用
事前請求可・おおた宛申し込み下さい。】

和歌山に住み、新宮教会の信徒とも交わりのあるぼくとしては、びっくりの大阪人の差別意識ですが、戦後間もない、沖縄が米軍支配下にあり、ドルで生活していた時代の外部世界への大阪人の意識としては理解できなくもありません。紀州最南端の新宮の熊野人は、外国人同様だったということでしょう。

そして、今はグローバリゼーション、世界中が新型コロナウイルスの訪問を受けていますので、人類意識が芽生えます。僕らもこの学習会を通じて、せめて日本人意識の幅を広げて沖縄も熊野も日本という仲間意識を現実のものにしたいものです。朝鮮の人たちをもアジアの仲間と見て、新型コロナウイルス克服の経験・知見を情報交換して、危機を乗り越えたいものです。世界市民としての日本人意識は、形成途中にあるわけですから、新型コロナウイルスの訪問を禍を福に転じるチャンスとしたいものです。

◆この沖縄タウン・学習会は6月13日に予定されていましたが、
10月10日（土）（午前11時大正駅前集合・夕方現地解散）に延期されました。
ふるってご参加ください。
（連絡先：携帯090-6321-9515 おおた＝留守電メッセージにてお願いします。）

イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる、
教会共同体をめざして
日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

平和の実現に寄与するひとになろう！！

沖縄の平和は私たちの平和 本土のわたしたちにできること

ヨゼフ・アベイヤ司教より

今年、私たちは戦後 75 年を迎えます。司教団は 6 月 23 日の沖縄慰霊の日にあわせて沖縄訪問を決定し、準備をすすめてきましたが、残念ながらコロナ禍の影響で予定を中止せざるをえなくなりました。私たちは、沖縄を抜きにして戦争と平和を語ることはできません。中止される前に那覇教区のウェイン・バーント司教に 3 つの質問をしていました。訪問に際して、心の準備をするためです。今回はかないませんでしたが、ここで皆さんといっしょに司教のことばのひとつひとつに耳を傾け、ともに祈り考えたいと思います。



ウェイン司教さま 教えてください！

1. どういう形で現代において沖縄で戦争の傷が残っているのでしょうか。

第一に心的被害です。祖国と思って信頼し、協力した日本国によって沖縄全体が盾とされ、日本の軍隊にスパイ扱いやその可能性から虐殺や集団強制死に追い込まれ、多くの住民が死を強いられました。そのうえ、戦後まもなく占領下の日本の主権回復のために沖縄はアメリカ軍に引き渡されました。しかもいまだにこれらの事実を認めず、公的謝罪もなく、そればかりか戦中・戦後の様々な蛮行の事実さえ捻じ曲げようとしています。（教科書問題に代表される歴史問題）さらにこうした植民地扱いを新基地建設によってさらに固定化しようとしている国の裏切り・切り捨て・いじめ・手段化は、その事実によって日本国民としての平等性や自尊心を著しく損ない、沖縄のこころを傷つけ続けています。



こんはく

魂魄の塔：糸満市

（沖縄戦終結後、周辺に散乱していた遺骨
3 万 5 千余柱が納められている）

今でも 2485t もの不発弾の多くが人口の集中する中南部に残っていて、現行のペースで処理すると後 80 年はかかり、これまでも幾度となく爆発事故を起こし、死者も多数出しており、今後も事故は起きうる状態です。また、同様に戦没者の遺骨もいまだに放置されたままで、遺骨収集活動も終わりが見えない活動として続けられています。沖縄の人々は慰霊さえ終わっていない現状に苦しんでいます。

戦争によってすべての社会基盤や生活基盤を奪われただけでなく、その後の米軍統治下に長年置かれ、日本の社会保障の制度から取り残された結果、二重戸籍、無年金者の増大、他県との所得格差、日本一の高失業率、基地依存の経済から観光依存の経済へと変化しただけで、いまだに自律的な産業構造を実現できていません。日米両政府により、生かさず殺さずの状況が保たれているのです。

2. 沖縄では、軍隊の基地が非常に多いですが、沖縄の人々はどのようにこういう現実を受け止めていますか。

沖縄人は、小さな島国であることから争うことよりも平和裏に物事を解決する文化を築いてきたため、武力を含む争いによっては人間の問題を根本的に解決することはできないとの共通理解を持っています。従って、争いを前提にする軍隊の存在を決して容認しませんが、これを過激な闘争によって解決しようとは決して考えません。沖縄の基地反対運動が完全な非暴力で継続されてきたのはこうした沖縄人の気質によることを理解しなければ、沖縄の人々の軍事基地に対する態度を見誤ることとなります。沖縄人は敵をつくらぬことを最優先します。従って、誰に対しても好意的に接します。無論米兵であろうが、大和人であろうが、とにかく誰に対してもフレンドリーです。



沖縄慰霊の日（六月二十三日）に寄せて

だからと言って基地を容認しているのでも、日本政府のやり方を容認しているのでもありません。沖縄において、又全世界においても軍事基地は、戦争に備える存在、確実に争いを引き起こす要因となる存在、平和を破壊する存在、敵の標的となる存在、環境を破壊する存在、レイプをはじめあらゆる暴力の温床となる存在、戦時に限らず常に周辺に被害を及ぼしている存在、取り除くべき存在だと考えており、

軍事基地の多く存在する現実はどうのような犠牲と時間をかけても無くすべきだと考えています。この世界に軍事基地が存在する限り必ず破壊が起こり、殺戮が繰り返されます。

米軍基地の存続によりベトナム戦争時、沖縄はその出撃拠点となり、ベトナムの人々の苦しみの元凶とされてしまいました。どんなに叫んでも米軍の軍事行動を止めることはできず、そのことは沖縄にとって大きな傷となっています。二度と戦争を起こさせないためにまずこの沖縄から軍事基地をなくし始めようというのが沖縄のこころです。



資料：沖縄の米軍基地地図（ウェイン司教より提供）

3. 今年は、日本の司教たちが沖縄に出向いて、慰霊の日を記念することになっています。 沖縄の教会にとって、また、日本の教会にとってこの出来事はどういう意味を持っていると思いますか。

戦後この方、途切れることなく続いている戦いがここにはあります。戦争をなくすための非暴力の戦いです。また、戦争で奪われたいのちの供養も終わることなく連綿と続いています。戦後 75 年と言われても、それは区切りにはならないのが沖縄の現状です。辺野古新基地建設反対運動に代表される様々な平和運動や活動、今も続く遺骨収集や不発弾処理、いまだに明らかにされず把握されていない戦時下の証言、いまでも続く戦争犠牲者名の調査と記録と平和の礎への刻銘、等々。沖縄の平和を取り戻す戦いは今も続いているのに「節目」と言われてもその言葉に区切りという意味を見出せません。



もし、司教団の来訪を今後の沖縄にとって意味あるものとしたいなら、沖縄の平和希求活動の新たな原点となり得る宣言、普遍的価値を持つ平和希求のこころを示すことにあると思います。沖縄を無意識に植民地化している大和の人々を揺さぶり、無意識の植民地化のあらゆる動きを止めさせ、沖縄の平和を取り戻す戦いに寄与することば、終わらない戦後の課題の終止符に寄与することばを宣言し、これ以降の日本社会の沖縄に対するあり方が少しずつでも動き出す起点となることが出来れば、沖縄の教会にとっても日本の教会にとっても大いに意味あるものとする事が出来るのだと思います。司教団の来訪と慰霊の日の記念そのものに何の意味もないとまでは思いませんが、ただ沖縄の人々に有難みを負わせる（強要する）ことにならなければよいと願っています。



沖縄の、そして世界の平和への想いが強く伝わります。
確かに、司教団の沖縄への訪問は中止になりましたが、今年の司教団による「平和メッセージ」は、沖縄の慰霊の日に合わせて発表する予定です。 前田万葉大司教

ウェイン司教さまのお話を聞いて、知らないことがたくさんありました。わかったことは、「沖縄の問題」ではなくて「日本全体の問題」だということ。他人事ではなくて、その中にぼくも入っているんだよね。もっといろんな人とつながって、聞いたり、調べたりしてみよう！



この大阪にも☆

- ・ 沖縄の歴史に詳しい神父さまがおられます。
- ・ 沖縄につながっている団体、グループ、ひとがいます。
- ・ 大正区には「リトル沖縄」があります。
- ・ シナピスニュースでは「沖縄とわたしたち」を連載中
- ・ 沖縄に行きたい！ ガイドさんご紹介します！

* 詳細はシナピスまで 06-6942-1784

子どもたちに 伝えたい平和



休校期間中に思ったこと

城星学園中学校・高等学校 野村純也

私は1998年より城星に勤務して今年度でもう 23 年目になります。にもかかわらず様々な事柄について、「これでよかったのか」と自問自答を繰り返す日々を送っております。現在は高校2年生の学級担任をしております。新型コロナウイルス感染拡大によって休校になってから早くも3か月近くが経過。生徒と教師が学校で「会う」という普段は当たり前になっていること、それがいかにかけがえのないものであったかを身に染みて実感しています。学校再開に向けて生徒たちを少しでも善導していくための方策を模索している今日この頃です。

先日(5月21日)の分散登校時に生徒たちと1か月半ぶりに顔を合わせました。各家庭への電話やオンライン授業などでつながってはいるのですが、やはり生徒の顔を直接みると安心感が違います。次から次へと話したいことや伝えたいことが浮かぶのですが、長時間学校に留めておくわけにもいかず、どうしても連絡事項が中心になってしまいます。その中で伝えたこと、それは「みんなでこの状況を乗り越えよう。みんなそれぞれ違った環境に置かれているかもしれない。でも、様々な制約の中であってもきっとみなさんは成長しているはずです。どうか何事も前向きにとらえてほしい」このような内容でした。そして私自身が思ったことは「生徒にそう話すならば、まずは教師が明るくないと」。これがなかなか難しいのは百も承知です。しかし、こんなときだからこそ、自分自身を叱咤していきたい。そのように強く感じました。本格的に学校が再開されたら、休校後の生徒たちの様々な変化を目の当たりにするときがきっと来るはず。変わらず元気である生徒もいれば、家庭で思わぬストレスをためてしまった生徒、学校になかなか足が向かなくなってしまう生徒、その生徒たちに我々教員は全力で寄り添わなければなりません。しかし、再開後の生徒たちとの出会いが、新たなよい出会いとなることを信じて、私自身「前向きに」歩んでいきたいと思っています。「あの休校期間を乗り越えたから成長できた」と生徒も教師も、そう思うことが出来るように、祈りながら進んでいこうと思います。

教えてください～！！第三弾！

「エコロジカルな回心」とは？



＊エコな生活。もちろん大切ですが、シナピスのスタッフの間でもいろいろな疑問が出ました。

プラごみなど使い捨てのものをすることはそんなに悪いのだろうか？分別さえしたらリサイクルされるのだから問題ないのではないかな？今月はここからです。

覚えていますか？時報 2019 年 5 月の記事

「考えてみよう！」



「咳き込む妻、夫『隣人殺す』

日本のごみで壊れるアジア

日本をはじめとする先進国が処理しきれないプラごみを東南アジアに売却。現地で業者を雇い分別作業をしているが、洗浄や分別が難しく、大半はごみに。そのごみを焼却する際に出る有毒ガスで健康被害が広がっている。インドネシアではごみを焼却する廃品業者の隣人の妻がぜんそくにかかり、その夫が業者宅に「焼却をやめなければお前を殺してやる」と怒鳴り込む事態に。20 年来の隣づきあいも壊れてしまった。マレーシアでも違法焼却によるぜんそくや気管支炎が増加している。

朝日デジタル 2019.6.26 より

分別だけでは解決できなさそう・・・。

そこで調べてみたら、こんな取り組みがあるそうです。

そんなことが・・・！

「廃プラを削減へ

飲料メーカーがあの手この手」

国内の飲料メーカーは、環境への負荷を減らすために様々な努力をしている。

- ・サントリー：リサイクル原料と植物由来の材料だけでペットボトルを製造
- ・日本コカ・コーラ：自動販売機横のごみ箱からペットボトルがあふれて川に転がっていかないよう、ごみ箱の情報を従業員がアプリで管理。
- ・アサヒ飲料：従来、リサイクルマークをシールで貼っていたが、ボトルに直接刻印。ラベルとシールを貼り付けないことで樹脂を年間で 7 トン削減

朝日デジタル 2020.5.14 より

こんなものがあるんだ！
時と場合によっていろいろ選べたらいいな。



「飯を食らわば皿まで

でんぷんトレイや野菜カップでごみ減」

廃プラスチックにたいする関心の高まりを受け、「イートレイ」ともいわれる食べられる器が開発されている。総菜用の器やトレイ、お箸、ストロー、コーヒーカップなどさまざまな商品が登場。小麦や食用イグサ、のり、おぼろ昆布、大根や人参、大豆などを使ったカラフルなものもあり、海外でも人気だ。そのまま捨てられた場合でも数日～1 か月で土にかえる。これは生分解性プラスチックの分解速度よりはるかに速い。

朝日デジタル 2020.5.14 より

ティッシュがある暮らし

- ・柔らかな肌触り
 - ・二枚重ねで丈夫
 - ・一枚引き出すと次がスタンバイ
- 快適で便利 でも・・・

大量のバージンパルプが原料
大きさが決まってて少しでいいときも
沢山使って無駄が多い

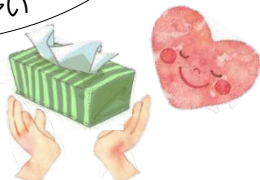
ティッシュのしあわせ

スタッフのつぶやき

でも！花粉症になったら、風邪をひいたら
いそいそとティッシュを買いに行き
柔らかなティッシュを使う幸せを味わう

ティッシュがない暮らし

- ・トイレトーパーを内側から使う
 - ・古着、古タオルを小さく切って使う
 - 古紙や不用品が原料
必要なだけしか使わないから無駄がない
- でも・・・快適さ、便利さでは落ちる
ちぎりにくい 古紙はごわごわ
何度も鼻をかむと痛い





みなさんがご存じのことを教えてください

たとえばこんなこと

1. 環境のためにしていること、昔から言い伝えられている知恵

2. 環境保護のためのいろいろな動き

☆お名前またはニックネーム _____

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法 FAX : 06-6920-2203 / メール : sinapis@osaka.catholic.jp

QR コード *

* QR コードの読み込みには、スマートフォンなどで QR コードリーダーをダウンロード
することが必要です。

☆締め切り 2020 年 6 月 22 日（月）まで





みんなの けいじばん



こんにちは！みなさんいかがおすごでしょうか。

ようやく緊急事態宣言が解除され、事務所も再開しました。閉鎖期間中、難民移住者の方々が大変だろうと、お米をはじめとするご寄付、たくさんのお心遣いをいただきました。心より感謝申し上げます。

あんなこと、こんなこと

必要なお知らせ

政府から悪評高きガーゼマスクが届きました！巷でもネットでもそのこの価格で手に入るようになった今頃！にです。

そういえば、ネットで「必要なところに・」という活動が始まっていない、と思いついた末に釜ヶ崎の「ふるさとの家」に送ろうと思いましたが、おじさんたちはガーゼマスクを洗って使うことは難しいかもしれないけれど、スタッフさんに使っていただけ、刺しと共に入れて送ることにして、友人、家族、親せきに声をかけてみました。「必要でない人は私に寄付をしてくださいます。」

日頃、絵本の読み聞かせ活動で一緒にの仲間にも声をかけると、ふるさとのお家の活動を知って「マスク送ります」と。長男のところは「了解です。もともと、ホームレスの人にマスクを渡す活動の団体に寄付する予定でした。」

次男は「アベノマスクって住所ないと届かないなら、ホームレスの人とかネットカフェ難民の人どうするんやろ？」って話を家族でしてました。ってことで、二家族とも同じ思いでいてくれて嬉しかったです。

そうなんです。私たちは当たり前のように、文句を言いながらも「アベノマスク」を受け取れているのですが、野宿を余儀なくされている方や簡易宿泊所に寝泊まりされている方、そのところには届かないのです。そのようなことも知ってほしくて声をかけました。

コロナ禍にあつて、教会活動もできない時ですが、家に居ながらにして出来る活動もあるのだと思っています。

(大阪府 多湖敬子さん)

私たちの社会貢献

京都の「社会福祉法人ミッションからしだね」の紹介で、難民移住者の方々が医療用防護ガウンプロジェクトに参加しています。現場で不足している防護ガウンを作って送り、厳しいチェックを経て採用された枚数に応じてご寄付をいただくものです。

探しています

☆安く買えるところ、ご存知ないですか？

- ①使い捨てゴム手袋Mサイズ
- ②70ℓ（厚さ0.2ミリ以上）のゴミ袋
- ③養生テープ（白色）

☆防護ガウン作りの

お手伝いボランティアさん募集！

詳細はシナピスまでお問い合わせください。

☆イエズス会社会司牧センター

「一杯の愛のお米プロジェクト」

コロナ禍で困っている人に届けるお金、食品のご寄付をお願いします。

詳しくはこちら

http://www.jesuitsocialcenter-tokyo.com/?page_id=8595

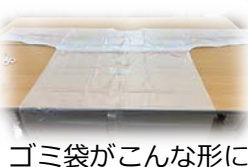


入口で手を消毒し、マスク・キャップ・手袋をします。

養生テープを真直ぐ貼るのが難しいそうです。

完成！

この日は福井県の赤十字病院に送りました。



ゴミ袋がこんな形に



「あんなこと、こんなこと」「ゆずります」「探しています」、ともにFAXかメール、右のQRコードからご投稿ください。QRコードの読み込みにはスマートフォンなどでQRコードリーダーのダウンロードが必要です。



☆投稿FAX：06-6920-2203 メール：sinapis@osaka.catholic.jp

☆締め切り：2020年6月22日（月）まで

またしても、日米地位協定の壁！！

米軍普天間飛行場から大量の消火剤が基地外へ流出
近くの認定こども園の子どもたちも避難する騒ぎに

消火剤には国内では製造、
使用禁止の有機フッ素化合物が含まれている

これだけの大事故なのに

日米地位協定が壁となり、調査は不十分なまま

普天間飛行場返還の日米合意は
2030年以降に？！

防衛省は辺野古の軟弱地盤改良工事を理由として、
工事の設計変更を県に申請 変更すると工期は延長

普天間飛行場返還は2030年以降に持ち越し

玉城知事はNO！

「県民に十分な説明もない。」

手続きを一方的に進めることは到底納得できない

「人の痛みは百年でも
我慢できる」っていうわよ。
この先10年、沖縄県民は
耐えろってこと？

最近の沖縄米軍関連ニュースより

危険にさらされている沖縄県民の痛みも、本土の私たちにとって百年我慢できるものなのでしょうか。
いえ、我慢できないと思う人たちによって、いくつかの取り組みが行われています。

本土の自治体議会が声をあげ始めた

- ◆全国知事会は故翁長前知事の働きかけを受け、2018年日米地位協定の抜本的見直しを提言、これ以後、160自治体議会が見直しを求める意見書を可決。 「朝日新聞」2020年5月15日
- ◆「沖縄発 新しい提案実行委員会」の呼びかけに応え、本土の31の市町村議会が辺野古基地建設に反対する意見書を可決または趣旨を採択。かつて米軍基地の騒音被害に悩んだ東京都の国立市議会は、意見書に「沖縄に基地機能が移転し、首都圏の米軍基地の整理縮小は実現したが、全国の市民が普天間基地の代替施設が必要とするなら、沖縄以外を候補地として民主的に解決すること」と訴えている。 「通販生活」2020年夏号より

本土に米軍基地を引き取る運動

- ◆「日本人が沖縄に押し付けてきた差別を解消したい…米軍基地の存在を肯定しているのに、それを沖縄だけに押し付けて、自分のところには来るといふ状況を変えたいんです」
「運動を進める『引き取る・大阪』」
松本亜季さんのことば
「週プレNEWS」2017年6月16日より

自治体を
動かすのは私たち一人ひとり。
できることは沢山ある！

歴史に触れよう！

「地上戦の日々③ 軍民混在の戦場」

4月1日、米軍は本島西部に上陸、猛攻撃に抵抗しきれず守備軍は5月下旬、司令部のある首里を捨て南部に撤退します。当時、軍隊の「生きて捕虜となつてはならない」という命令は住民にも徹底されていました。戦闘に巻き込まれた住民は降伏もできず、軍と行動を共にします。激しい砲爆撃の中を逃げ惑い、石灰岩でできた自然壕（ガマ）が軍民の避難場所になりますが、日本兵は住民を追い出したり、取り上げた食料を取り返そうとした子どもや、泣き声をあげる赤ちゃんを殺すこともありました。

大人でも精神障害を起こすような過酷な戦場に、沖縄では多くの子どもたちが動員されました。本来徴兵年齢は20歳（1944年から19歳に引き下げ）でしたが、戦力不足を補うために本土では1945年6月、「国民義勇兵役法」が制定され、男子は15歳から、女子は17歳から学徒隊として動員されることが決まりました。沖縄での子どもたちの動員はそれを先取りするものです。6月初め、軍は学徒隊に突然解散命令を出します。「捨てられた」と思った中学生、「今更解散なんて」と怒る女学生たちは支えを失って戦場をさ迷うことになります。腐乱した遺体を踏みつけかき分け、ばんばんに腫れ上がった遺体を見た時は「いっそ直撃弾に当たってひと思いに死ねたら」と思ったそうです。



（「沖縄戦新聞」第11号 琉球新報社）

憲法が変わったらどうなるの？ 第19弾

バッシングと議論 ^{ちむぐ} 肝苦しの共感を



前から思っていたんやけど、意見表明をすると
必ず、バッシングする人たちがいるね

コロナ禍に対しての国の政策や対策、対応に人々の不満が爆発しているね。
経済的なダメージが大きいことで、みんな政治と生活が直結していることを実感したんだ
と思う。仕事がなく不安の中で過ごしている人もいる中で、政府は検察庁法「改正」、
種苗法「改正」など、どさくさに紛れて法案を押し通しそうとしていたやん。
特に検察庁法については、多くの有名人が次々と異論を唱え意見表明したけど、
私の大好きな“きやりーぱみゅぱみゅ”をバッシングする人たちの書き込みを見ていたら、
辛いし、怒りがこみあげるしで……。意見言うたらあかんの？



国民不在の政治に NO！！をいうのは当然よね。
でもそれに対して顔が見えない、どこのだれだかもわからないのをいいことに、
批判するならともかく、バッシングすることで人を傷つけ、精神的に追い込んで、
ストレスを発散させている人もいると聞いたことがある、それはあかんよね。

うん、人の命を奪うところまでいってしまう危険性があるということを
意識したり想像せんと。

意見があるなら、相手のことを思いやって、発言することが大切やと思う。

(でも、良くも悪くも、どちらの立場にたっても、声をあげるとバッシングは起きるよ。)



権威、権力、を振りかざした「暴力」は世界中いたるところで起きている。このコロナ禍でますます
暴力がひどくなっている) またヘイト、インターネット上での誹謗中傷などはそういった「暴力」
をさらに煽っている。

平和で、安全安心、幸せな暮らしを願っているひとたちが、政治に対し不満を口にするのは当然の
権利として保障されているのに、それを制圧し、暴力で解決をはかる国。

それに乗っかる人がヘイトを繰り返す。

この負の連鎖をどこでストップできるのかなあ。



「肝苦し」の共感

憲法が保障する「言論の自由」って、どこまでの自由なんだろう。

「言論の自由」=「何を言ってもいい。人を傷つけてもかまわない」これでいいのかなあ。

これは「議論」でなくて、ただ攻撃し、排除を扇動し、差別と偏見を助長することではないだろうか。

社会の中で、谷間に置かれた人、しんどい人、国家権力によって抑圧されている人たちの声に耳を
傾けるときに「肝が苦しいほどの共感」を生むはずだ。この「肝苦しの共感」の気持ちを、どんな相手
に対しても、誰と議論する時でも忘れないようにして、たとえネットの上であつても面と向き合っている
ときと同じ態度でたがいの思いを伝えられたら、どれほど建設的な話になるだろう。

そうやって初めて日本にも議論する文化が育っていくんじゃないかな。

NEW メンバーのご紹介

よろしくおねがいいたします！！



★ 松永 敦(まつなが あつし)センター長
姫路地区西ブロック 飾磨教会在住
高齢司祭の愛犬を引き取り、仲良く
やっています。



★ 松浦 謙(まつうら けん)副センター長
南地区なみはやブロック なみはや教会在住
音楽大好き！

二人の共通点はマラソンです。42.195Km 完走経験者
持久力があります。焦らず気長に松松コンビでがんばりまーす！

ご寄付のお願い

○こども基金期間限定のキャンペーンをはじめました。
ご寄付、ご協力をよろしくお願いいたします。
支援の必要な団体：申請は随時受付しています！
詳細は HP をご覧ください。

○難民移住移動者支援も引き続きよろしくお願いいたします。

活動へのご支援ご協力をおねがいします

郵便振替 00960-7-61419

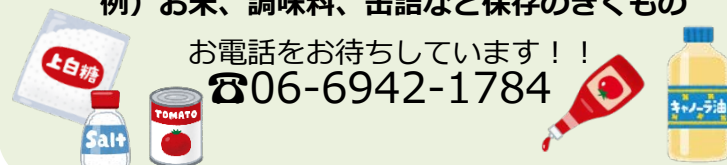
加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

食料品提供のお願い

例) お米、調味料、缶詰など保存のきくもの

お電話をお待ちしています！！

☎06-6942-1784



◆ニュースレターは、HP 上でも掲載しています。

⇒<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

あとがき

日本で唯一の人権問題の総合博物館「リバティおおさか」が5月31日をもって休館しました。私も何度か訪ねましたが、沖縄、アイヌ、在日コリアン、被差別部落、障がい者、性、ハンセン病などに対する差別の歴史はもとより、いのち、人間の尊厳、多様性を大切にしようというメッセージを発信する基地局のような大事な存在でした。橋下徹元大阪府知事が、「差別、人権などネガティブな中身、自分の考えに合わない」と内容の変更を求めたことを契機に、休館に追い込まれました。

前川喜平さん(現代教育行政研究会代表)が先日の東京新聞に、「大阪が世界に誇るべき人権の拠点が大阪市によってつぶされました。大阪人の皆さん、本当にこれでいいのですか」と書かれているのを読んで、頭を殴られたような衝撃をうけました。人の尊厳を傷つけてきた過去の歴史に学ばない「リーダー」を選び、市府政を任せた時間は戻ってきません。国政もまた同じ。いまま誰かを犠牲にしながら負の歴史を刻み続けるのであれば、「これでいいのですか。」の問いに、私はいつまでも答えられないままかもしれません。(H)

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等
社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ
機関誌としてシナピスニュースを発行

◆大阪教区・社会活動委員会との連携

◆学習会研修会の企画

◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

◆カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、
カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪府中央区玉造 2-24-22

カトリック大阪大司教区事務局内



公共交通機関ご利用の場合

JR 森ノ宮駅より 約 1000m

地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m

JR 玉造駅より 約 1000m

地下鉄鶴見緑地線玉造 1 番出口より 約 800m

車でお越しの場合

阪神高速 13 号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



忘れない* あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。



2020年 6 月 の 案 内

★印 カトリック関係

2020年 祈りの意向 6 月

福音宣教の意向： み心の道

苦しむすべての人が、イエスのみ心に動かされ、生きる道を見いだすことができますように

日本の教会の意向： 孤立している人

人格的交わりを失って孤立している人々が、わたしたちの支えと関わりを通して絆を回復していくことができますように

新型コロナウイルスの影響により、開催が中止される可能性があります。
主催者まで事前にお問い合わせください。

1	月	国際親の日
2	火	
3	水	
4	木	侵略による罪のない幼児犠牲者の国際デー
5	金	世界環境デー 違法・無報告・無規制に行われる漁業との闘いのための国際デー
6	土	
7	日	●ドキュメンタリーを視て語るつどい ■場所:大阪市北区民センター 18時～ 上映:「証言ドキュメント天安門事件から30年」「ヤジと民主主義～警察が排除するもの」 参加費:300円 主催:映像で現代を語る会 TEL090-5151-9763 (中森) 無期延期 → ●第27回統一マダン生野 場所:巽公園(ロート公園) 12時～ 特別出演:川口真由美さんライブ 主催:第27回統一マダン生野実行委員会 TEL06-6711-6377 fax06-6711-6378 ✉ikuno@madang.jp
8	月	世界海洋デー
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	児童労働に反対する世界デー
13	土	国際アルビニズム(白皮症)啓発デー
14	日	世界献血デー
15	月	世界高齢者虐待啓発デー
16	火	家族送金の国際デー
17	水	砂漠化および干ばつと闘う国際デー
18	木	持続可能な食文化の日
19	金	紛争における性的暴力根絶のための国際デー ●安倍政権のミサイル防衛構想を斬る 能勢ナイキ闘争勝利50周年記念集会 ■場所:PLP会館5階大会議室 18時半～ 講師:前田哲男さん(軍事評論家) 主催:戦争をさせない1000人委員会・大阪
20	土	世界難民の日 秋に延期 → ●撃ち砕こう! 辺野古新基地建設と南西諸島の軍事要塞化 ■場所:PLP会館大集会室 13時半開場 14時～「とめよう改憲大阪ネット」の総会 14時15分～ 講演:山城博治さん(沖縄平和運動センター議長) 主催:とめよう改憲おおさかネットワーク
21	日	
22	月	
23	火	国際寡婦の日 国連パブリック・サービス・デー
24	水	
25	木	船員デー
26	金	国際薬物乱用・不法取引防止デー 拷問の犠牲者を支援する国際デー ●対談「朝鮮戦争から70年 光州抗争から40年」 ■場所:隆祥館書店 19時～21時 対談:洪性翊さん(画家 起業家) 吳光現さん(在日本4・3犠牲者遺族会会長) 資料代300円 要申し込み 問合せTEL090-8234-0077 ✉kawase2018@yahoo.co.jp
27	土	零細・中小企業デー 11月14日に延期 → ●2020グループZAZA連続講座 ■場所:エル大阪・視聴覚室 13時半開場 14時開始 講師:平井美津子さん(大阪府立中学社会科教員) 主催:グループZAZA
28	日	熱帯地域の国際デー
29	月	
30	火	